

研究課題名	当院におけるゼラチンスポンジを併用したバルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術の治療成績の検討
研究期間	実施許可日 ~ 2027 年 3 月 31 日
研究の対象	2019 年 9 月から 2023 年 3 月の間に、広島大学病院放射線診断科で、胃静脈瘤に対してバルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術 (BRTO) または、従来の硬化剤にゼラチンスポンジを混和して注入する BRTO の変法 (GERTO) を受けた患者さん。
研究の目的・方法	研究目的：従来の硬化剤にゼラチンスポンジを混和して注入する BRTO の変法 (GERTO) の実態を明らかにすることです。 研究の方法：研究対象者の診療録 (カルテ) 内にあるデータを使用して、GERTO について治療成績・安全性を従来の BRTO と比較・検討することで、その有用性を明らかにします。過去のデータを使用するので、この研究のために新たな検査や処置をすることはありません。
研究に用いる試料・情報の種類	情報： カルテ記録 ：年齢、性別、診断名 (胃静脈瘤)、破裂の有無、肝性脳症の有無・重症度、検査日、硬化剤使用量、Down grading の方法 (バルーンを進めたか否か、ダブルバルーンの使用の有無、マイクロバルーンの使用の有無、脾動脈塞栓の有無、50%ブドウ糖の使用、コイルの使用、コイルの本数と長さ、塞栓血管の本数と血管径)、ゼラチンスポンジ混和の有無、硬化剤 (EOI) の量、術前術後での肝静脈楔入圧と肝静脈圧、術後食道静脈瘤の増悪、胃静脈瘤再発 血液検査結果 ：術前術後の Child-Pugh スコア (アルブミン、ビリルビン、PT 活性)、血小板数、腎機能 (BUN、Cr) 画像情報 ： ・術前 CT より、日付、門脈血栓の有無、排血路の径、腹水の有無 ・アンギオ所見より、Down grading 前後での胃静脈瘤の廣田分類、排血路の本数・血管径、手技成功の有無 ・術後 CT より、日付、胃静脈瘤再発の有無、門脈血栓の有無、腹水の有無、食道静脈瘤および腹水増悪の有無 試料：血液、尿などの保存検体はもちいません。
外部への試料・情報の提供	ありません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。

研究組織	<p>本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科放射線診断科 教授 栗井和夫</p>
その他	<p>利益相反はありません。</p>
<p>研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先</p>	<p>研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 放射線診断科 担当者：助教 三谷英範 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5257</p>